

2024年3月期 第1四半期 決算概要

2023年8月9日



PUNCH INDUSTRY

パンチ工業株式会社

(証券コード: 6165 東証プライム)



PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

■ 2024年3月期1Q決算概要

2024年3月期 1Q決算ハイライト

中国の減収幅が大きく、原材料・資源価格高騰の影響もあり減益

売上	連結	連結売上高は、前年同期比92.3%、7億円減の94億円。
	日本	前年同期比93.4%の32億円。 食品関連は好調に推移したが、自動車関連の落ち込みの影響大。
	中国	前年同期比86.3%の47億円。 自動車関連の主要取引先からの受注減少の影響もあり減収。
	東南アジア	前年同期比100.6%の4億円。 ベトナム、フィリピン、タイが好調を維持。
	欧米他	前年同期比127.4%の9億円。 全業種が好調を維持。
利益		営業利益は、前年同期比14.0%の98百万円 経常利益は、前年同期比48.5%の338百万円 親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比27.9%の119百万円
ネット資金		配当及び賞与支給等により、期首から759百万円減少。



PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO.,LTD.

1

■ 2024年3月期1Qの決算ハイライト

■ 中国の減収幅が大きく、また原材料・資源価格高騰の影響もあり、減収減益

■ ネット資金は、配当及び賞与支給等により、期首から7億59百万円減少

損益計算書サマリー(1Q比較)

(単位:百万円)

	2023年3月期		2024年3月期		前年同期差	前年同期比
売上高	10,234		9,442		▲ 791	92.3%
営業利益	6.9%	705	1.0%	98	▲ 607	14.0%
経常利益	6.8%	698	3.6%	338	▲ 359	48.5%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	4.2%	427	1.3%	119	▲ 308	27.9%

為替レート(実績): 1人民元=19.33円/1USドル=133.26円



PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO.,LTD.

2

■ 決算数値の概要

■ 売上高は94億42百万円で、前年同期比92.3%、7億91百万円の減収

■ 営業利益は98百万円、経常利益は3億38百万円、そして親会社株主に帰属する四半期純利益は1億19百万円

■ 為替レート(実績): 1人民元=19.33円/1USドル=133.26円

売上高と利益(1Q比較)

(単位: 億円)

売上高

102 (5.72)

(うちFA売上高)

94 (6.37)

7.05

営業利益

4.27

親会社株主に帰属する
当期純利益

0.98

1.19

【前年同期比較】

売上高 7 億 91 百万円 減収

営業利益 6 億 7 百万円 減益

純利益 3 億 8 百万円 減益

※親会社株主に帰属する四半期純利益

2023年3月期

2024年3月期



PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO.,LTD.

3

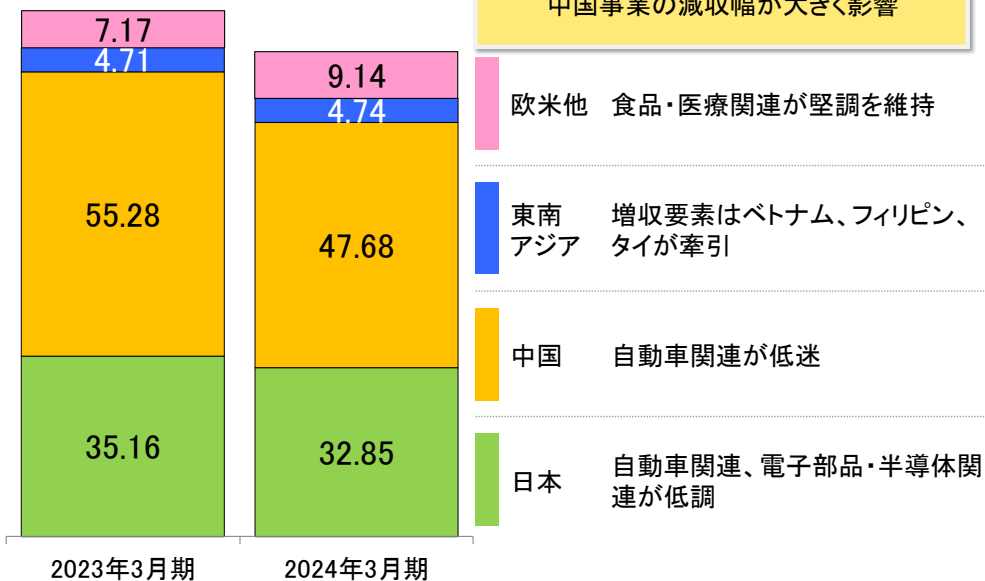
■ 2023年3月期と2024年3月期の売上高・利益比較(1Q)

■ FA売上は増加したものの、前年同期の数値と比較して、減収

➤ 四半期ベースの推移は、資料末尾の「参考資料」へ掲載

地域別売上高(1Q比較)

(単位: 億円)



PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO.,LTD.

4

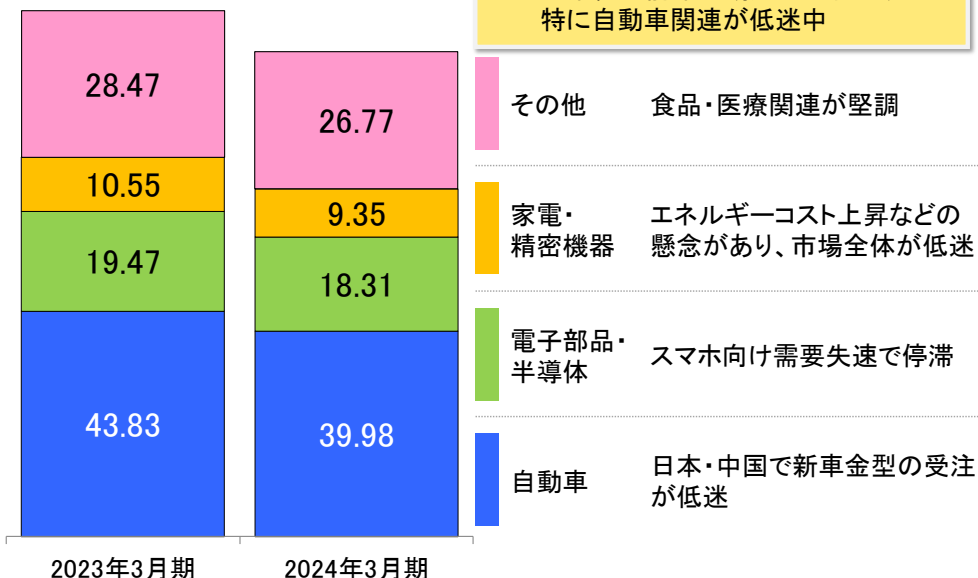
■ 地域別の売上高

■ 中国事業の減収幅が大きく、連結売上に影響

➤ 四半期ベースの推移は、資料末尾の「参考資料」へ掲載

業種別売上高(1Q比較)

(単位: 億円)



PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

5

■ 業種別の売上高

■ 自動車関連は、日本・中国ともに新車金型の受注が低迷

■ 電子部品・半導体関連は日中ともにスマホ向け需要失速により停滞

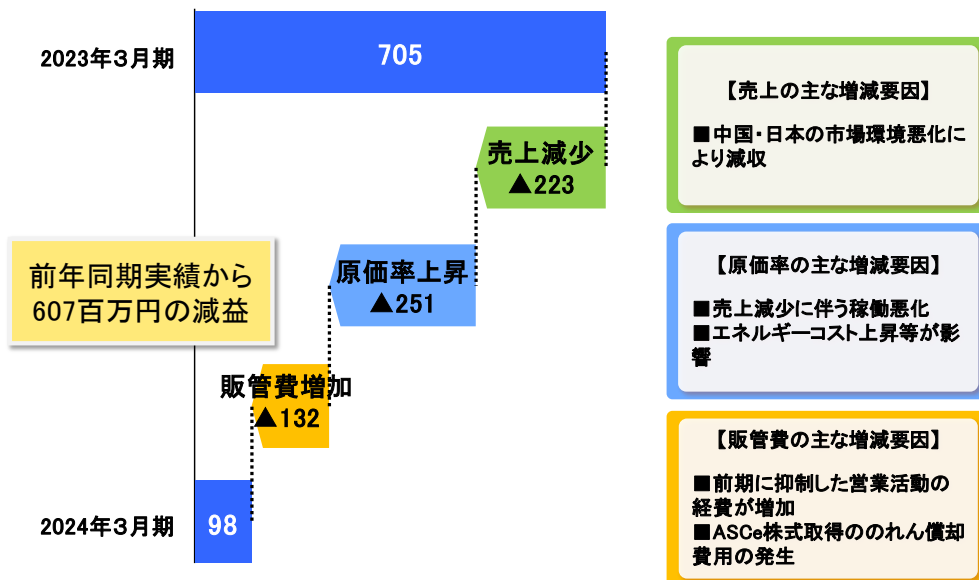
■ 家電・精密機器関連はエネルギーコスト上昇などの懸念があり、市場全体が低迷

■ その他は食品・医療関連が堅調

➤ 四半期ベースの推移は、資料末尾の「参考資料」へ掲載

営業利益増減(1Q比較)

(単位:百万円)



PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

6

■ 営業利益の増減分析

- 前年同期の営業利益実績7億5百万円に対して、
売上減による利益減少が2億23百万円

売上減少に伴う稼働悪化及びエネルギーコスト上昇等の影響等により、原価率が上昇し2億51百万円の利益減少

販売費は前期に抑制した営業活動の経費が増加及びASCe株式取得ののれん償却費用が発生したことにより、1億32百万円の増加が利益減少要因

- 結果、2024年3月期1Qの営業利益は、前期から6億7百万円の減益となり、98百万円を計上

貸借対照表サマリー

(単位:百万円)

	2023年3月 期末	2024年3月 期 第1四半期末	比較増減
総資産	30,455	29,518	▲937
総負債	11,403	10,268	▲1,135
うち有利子負債	2,997	2,701	▲296
純資産	19,052	19,250	197
ネット資金	2,215	1,456	▲759
自己資本比率	62.4%	65.1%	2.7pt

	2023年3月 期 第1四半期	2024年3月 期 第1四半期	比較増減
設備投資額(無形固定資産含む)	271	267	▲4
減価償却費(無形固定資産含む)	277	283	6



PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO.,LTD.

7

■ 貸借対照表サマリー

■ 総資産は、現金及び預金の減少等により、9億37百万円の減少

■ 総負債は、仕入債務の減少等により、11億35百万円の減少

■ 純資産は為替換算調整勘定の増加等により、1億97百万円の増加

■ 上記の結果から自己資本比率は前期末から2.7ポイント上昇し、65.1%

■ 設備投資額は、前期から4百万円減少の2億67百万円

2024年3月期 第2四半期累計期間の業績予想を修正

(単位:百万円)

	2023年3月期 第2四半期 (実績)	2024年3月期 第2四半期連結累計期間			
		前回予想 (2023/5/12公表)	修正予想	前年同期差 (前年同期比)	前回予想差 (前回予想比)
売上高	21,665	20,300	19,250	▲ 2,415 (88.8%)	▲ 1,050 (94.8%)
営業利益	7.1% 1,537	4.0% 810	1.7% 330	▲ 1,207 (21.5%)	▲ 480 (40.7%)
経常利益	7.0% 1,524	3.9% 800	3.2% 620	▲ 904 (40.7%)	▲ 180 (77.5%)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	4.2% 905	0.6% 120	0.6% 120	▲ 785 (13.2%)	0 (100.0%)



PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO.,LTD.

8

- 最近の業績動向を踏まえ、2023年5月12日公表の2024年3月期 第2四半期累計期間における連結業績予想を修正
- 1Q連結業績は、世界的な在庫調整の局面やダウントレンドの市況を受け、原材料・資源価格の高騰や部品不足、仕入品の価格上昇や水道光熱費の上昇等が継続し、日本事業並びに中国事業において前年同期実績を下回る売上
- 2Q以降も、日本・中国ともに市況は厳しさを増し、自動車関連は新車金型の受注低迷、電子部品・半導体はスマートフォン向け需要の失速等、売上は回復の兆しがなく、大幅な売上の下方修正が必要な状況

2024年3月期 通期の業績予想を修正

(単位:百万円)

	2023年3月期 (実績)	2024年3月期 連結累計期間			
		前回予想 (2023/5/12公表)	修正予想	前期差 (前期比)	前回予想差 (前回予想比)
売上高	42,799	42,000	37,600	▲ 5,199 (87.9%)	▲ 4,400 (89.5%)
営業利益	5.7% 2,436	5.1% 2,150	2.0% 750	▲ 1,686 (30.8%)	▲ 1,400 (34.9%)
経常利益	5.6% 2,394	5.0% 2,100	2.7% 1,000	▲ 1,394 (41.8%)	▲ 1,100 (47.6%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	3.2% 1,390	1.9% 800	0.3% 100	▲ 1,290 (7.2%)	▲ 700 (12.5%)
自己資本利益率 (ROE)	7.9%	4.2%	0.5%	▲7.4pt	▲3.7pt
投下資本利益率 (ROIC)	8.1%	6.9%	2.4%	▲5.7pt	▲4.5pt

2024年3月期
配当予想

20.30円 = 中間 10.00円(予定) + 期末 10.30円(予定)

為替レート(想定): 1人民元=19.00円/1USD=136.00円

設備投資額(想定):15億円 減価償却費(想定):12億円

 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO.,LTD.

9

- 特に中国においては当初予想には3Q以降の景気回復を見込んでいたことに加え、当初織り込んだ仕入れコスト上昇による影響が想定を上回っており、3Q以降に価格改定による利益改善を図るものの、売上減少による利益減少や仕入れコストの上昇をカバーしきれない見込みであることから、通期連結業績予想を修正
- 2Q連結累計期間及び通期の連結業績予想には、経営合理化による特別加算退職金と再就職支援に係る費用等は織り込んでいないため、生産拠点・販売拠点の統廃合による希望退職者数が判明次第、改めて公表予定
- 想定為替レートは、1人民元=19.00円/1USD=136.00円としており、前回予想から変更なし



2022-2024年度 中期経営計画 「バリュークリエーション2024 Revival」^{リバイバル}

 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

- 2023年7月5日に公表した、最重点施策として「国内事業の再整備」を掲げ、生産拠点・販売拠点の統廃合と、それに伴う希望退職者の募集・連結子会社の解散を含めた、経営合理化を行う中期経営計画「バリュークリエーション（以下、VC）2024 Revival」の概要

「VC2024 Revival」の重点経営課題を再設定

付加価値の高い特注品ビジネスにより特化し、持続的な利益成長を目指す

株式上場

VC15

VC2020

VC2024 Revival

- 国内事業の再整備
- 海外事業での成長

- 販売5極体制の確立
- お客様サービスの向上
- 高収益事業の推進とR&D強化
- 働き方改革

- グローバル化
- 新市場の開拓
- 高収益事業モデルへの転換



PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

11

- 「VC2024 Revival」の重点経営課題を再設定し、「付加価値の高い特注品ビジネスにより特化し、持続的な利益成長を目指す」ことを基本戦略とし、事業構造の改革に取り組むことを決定
- 生産体制においては、連結子会社であるピンテックを解散するとともに、北上工場、宮古工場及び兵庫工場から大連工場及びベトナム工場への生産移管を実施し、グループ生産体制の再整備を行う
- 販売体制においては、カスタマーセンターを設立し、受注業務の効率化に着手
- 上記の生産・販売体制の整備に伴い、当社において希望退職者の募集を行う
- 「VC2024 Revival」では、国内事業の再整備と海外事業での成長の2本柱として注力し、これまでのVC2024の重点経営課題をやめるわけではないが、優先順位を大幅に入れ替え、まずは国内事業の経営合理化を最優先の課題として取り組む

「VC2024 Revival」の重点施策



PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO.,LTD.

12

■ 「VC2024 Revival」の重点施策を整理

- 国内事業の再整備の中では、営業体制と生産体制の再整備に加え、引き続きR&D強化に取り組む
- 営業体制整備としては、カスタマーセンターの設立による業務効率化、生産体制整備としては、拠点の統廃合や工場のスマート化などに取り組む
- 海外事業の成長戦略としては、中国、インド、欧米でのさらなる成長戦略に取り組む
- 中期経営計画「VC2024 Revival」の2年目である2024年3月期及び最終年度となる2025年3月期の通期連結業績予想及び経営数値目標は、生産拠点・販売拠点の統廃合による希望退職者数が未確定であることから、現在精査中であり、判明次第改めて公表予定

参考資料

 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

■ 各資料につきましては、当社Webサイトよりご覧ください。

■ 中期経営計画

➤ http://www.punch.co.jp/ir/med_management.html

■ 決算短信

➤ <http://www.punch.co.jp/ir/library/tanshin.html>

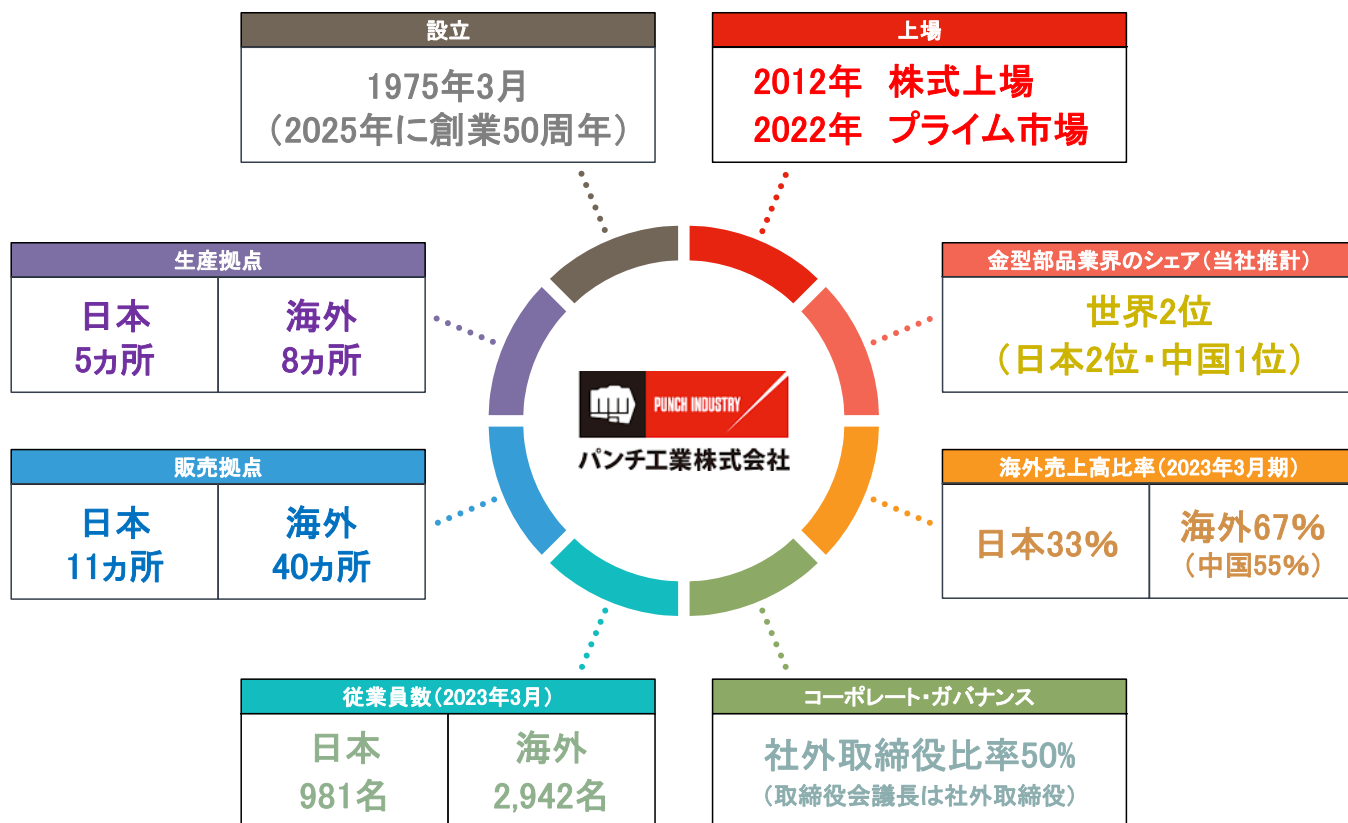
■ 決算説明資料

➤ <http://www.punch.co.jp/ir/library/setsumei.html>

■ IRニュース一覧

➤ <http://www.punch.co.jp/ir/2023/>

ひと目でわかるパンチグループ



PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO.,LTD.

14

マネジメント体制

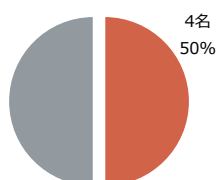
代表取締役社長プロフィール

氏名及び生年月日	職歴
 森久保 哲司 (1977年1月22日)	2003年5月 当社入社
	2005年2月 盤起工業(大連)有限公司
	2012年11月 バリュー・クリエーション推進室長
	2013年4月 経営企画室長
	2015年4月 PUNCH INDUSTRY MALAYSIA SDN. BHD.
	2016年5月 執行役員
	2018年6月 取締役 上席執行役員 経営戦略統括
	2019年4月 最高戦略責任者 グループ事業統括
	2019年6月 代表取締役(現任) 副社長執行役員
	2019年11月 社長執行役員 最高経営責任者 グループ経営統括(現任)

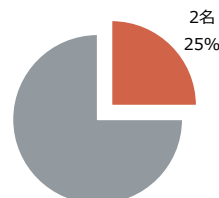
取締役体制

取締役	代表取締役社長執行役員 最高経営責任者(CEO)	森久保 哲司
	取締役上席執行役員 最高財務責任者(CFO)	村田 隆夫
	取締役上席執行役員 最高執行責任者(COO)	高梨 晃
	社外取締役 取締役会議長	高辻 成彦
	社外取締役	大里 真理子
取締役 (監査等委員)	取締役(監査等委員)	河野 稔
	社外取締役(監査等委員)	鈴木 智雄
	社外取締役(監査等委員)	田畑 千絵

社外取締役比率



女性取締役比率



PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO.,LTD.

15

パンチグループ沿革



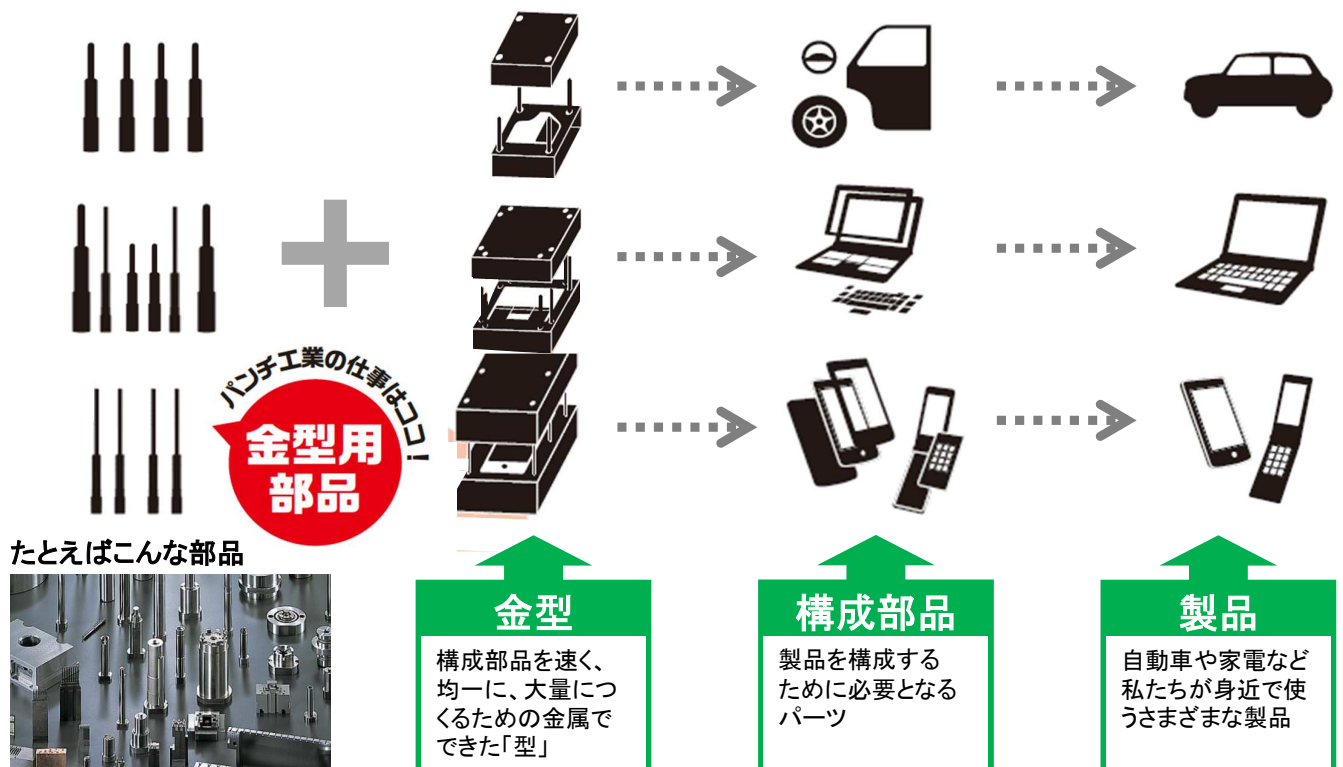
PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

16

事業内容

金型を構成するために、なくてはならない多種多様な精密金型部品の製造・販売
皆様の豊かな生活を支える「縁の下の力持ち」



PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

17

パンチグループの主要製品

射出成型金型等のプラスチック金型部品とプレス加工金型等のプレス金型部品
ものづくりの上流から下流までお取引

プラスチック金型部品

プラスチック金型は、スマートフォンやデジタルカメラの外装など、多くのプラスチック製品の製造に用いられています。加熱溶解したプラスチック樹脂を、射出成形機に実装された金型に注入し、冷却、固化することにより製品が作られます。パンチグループでは、この金型を構成する部品を製造・販売しています。



主要な製品

エジェクタピン

射出成形された成形品を金型そのものから離し、突き出すための部品（押し出しピン）です。



主要な製品

コアピン

製品部を成形するのに使用し、コアピンの形が転写されます。製品部の貫通させた部分を成形したり、製品部に彫刻をします。

プレス金型部品

プレス機（上下運動する機械）に金型を装着し、上下に分かれた金型の間に材料となる金属の鋼板を入れ、プレス機を稼働することにより、金型で型どられた製品ができ上がります。パンチグループでは、この金型を構成する部品を製造・販売しています。



主要な製品

パンチ

プレス金型に組込まれる代表的な部品で、金属板に穴をあけたり、形状を転写するための部品です。当社の社名はこのパンチに由来しています。



主要な製品

ホルダーガイドポスト関連

上型と下型の関係を正しく保つために使用する部品です。



PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

18

パンチグループの特徴

日本・中国
特注金型部品シェア1位 ※当社推計



カタログ品

汎用性の高い標準製品を
豊富にラインナップ

スピーディな
ソリューション

特注品

カスタムニーズにも
柔軟に対応



一気通貫の生産体制
2,000台以上の設備で幅広い対応力

お客様密着型の営業体制
きめ細かな対応・提案力

高い技術力
創業以来培ったノウハウとたゆまぬ研究開発



PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

19

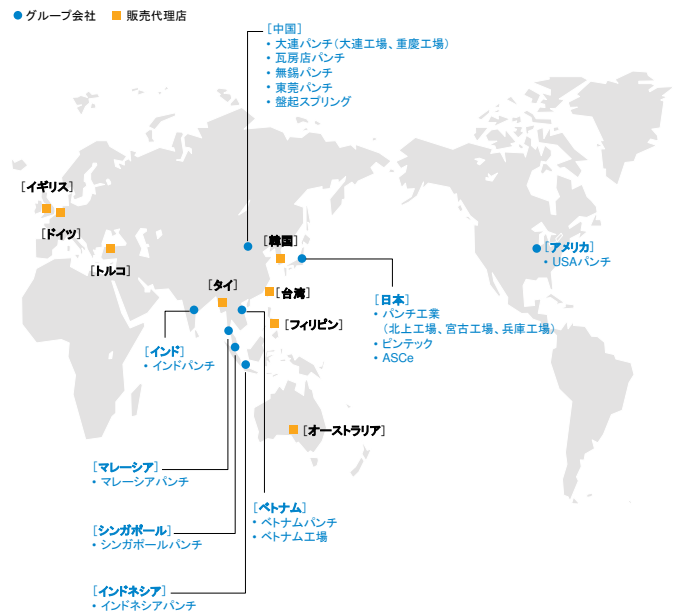
パンチグループの強みとネットワーク

汎用性の高いカタログ品を豊富にラインアップ&カスタムニーズにも対応する特注品
世界の「ものづくり」を支える

パンチグループの強み



パンチグループのネットワーク



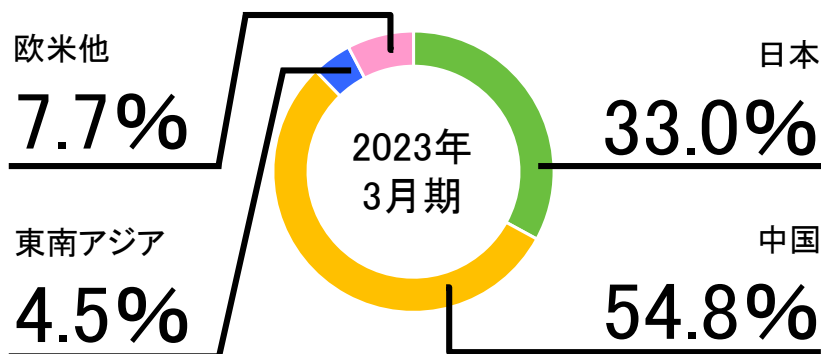
PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

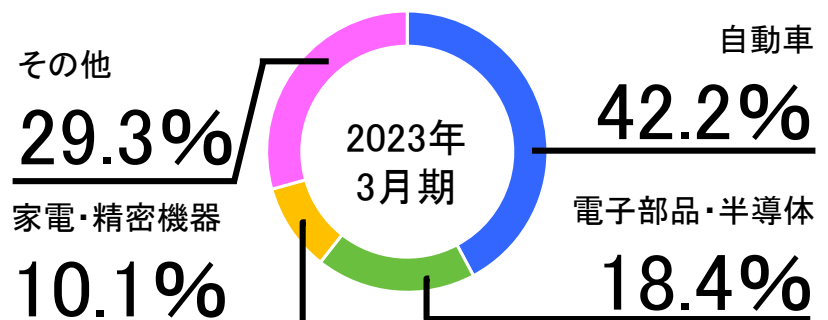
20

地域別・業種別売上高構成比

地域別売上高構成比



業種別売上高構成比



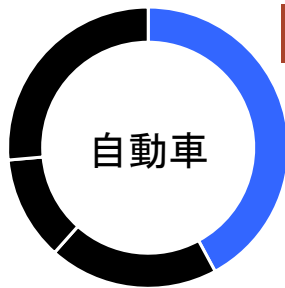
PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

21

業種別の主要顧客

日本での主な競合先: 大手総合機械商社、地場金型加工メーカーなど
中国での主な競合先: 中華系機械商社、中華系機械メーカーなど



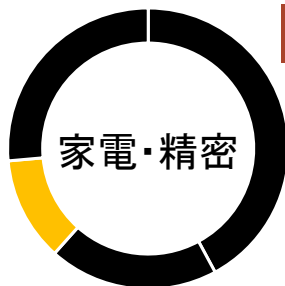
主要顧客

自動車メーカー及び
Tier1,2
金型メーカー



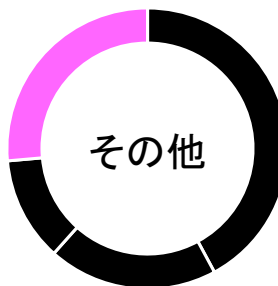
主要顧客

電子部品メーカー
半導体装置メーカー
金型メーカー



主要顧客

家電メーカー
金型メーカー



主要顧客

文具メーカー
玩具メーカー
医療メーカー
飲料容器メーカー
グローバル商社
金型メーカー



PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

22

エンドユーザーのイメージ（例：自動車関連）

大多数のエンドユーザーは金型メーカー

自動車メーカー



ボディ・外装・シート・
コネクター・等々のメーカー



金型 メーカー



パンチグループ



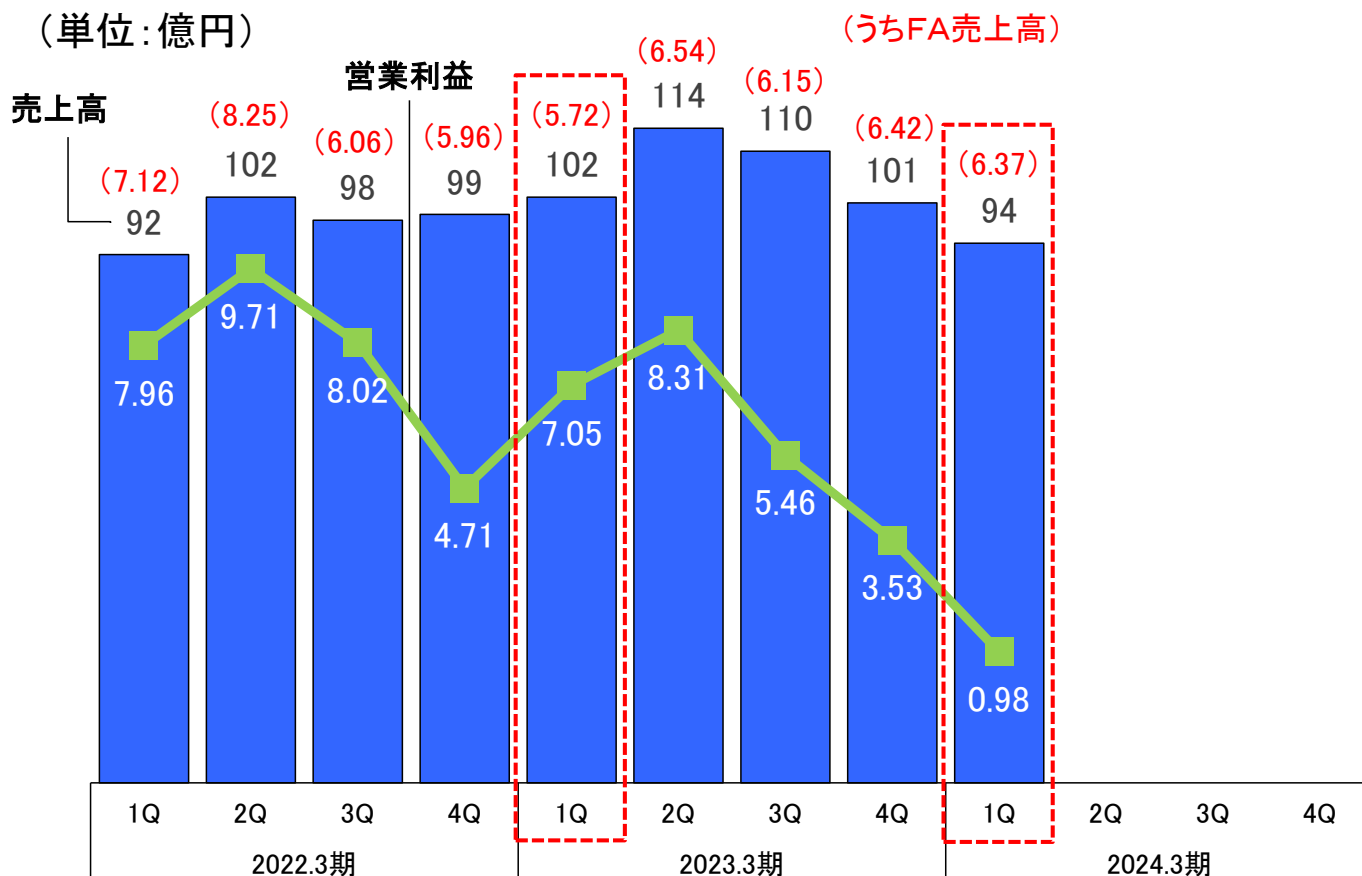
PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

23

売上高と営業利益の推移

(単位: 億円)



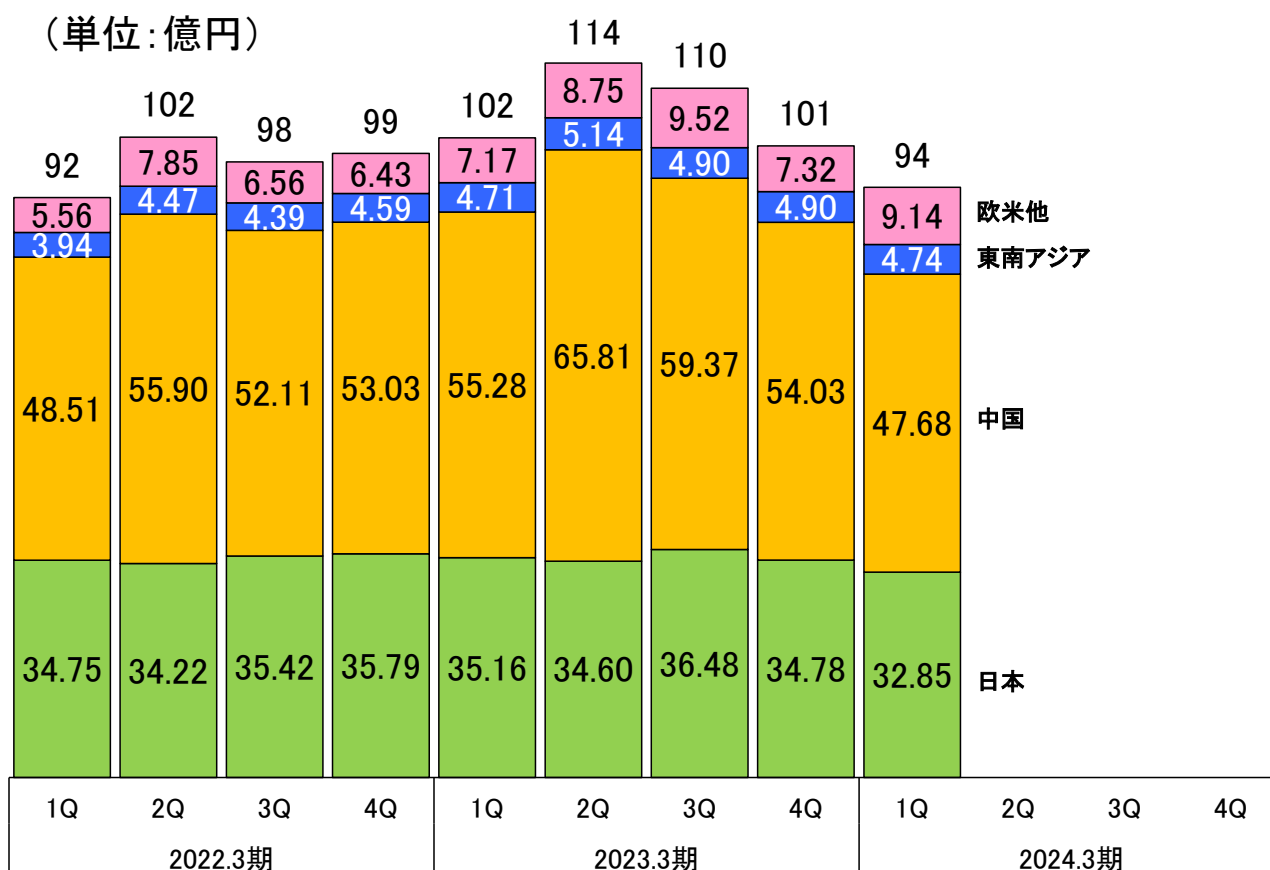
PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO.,LTD.

24

地域別売上高

(単位: 億円)



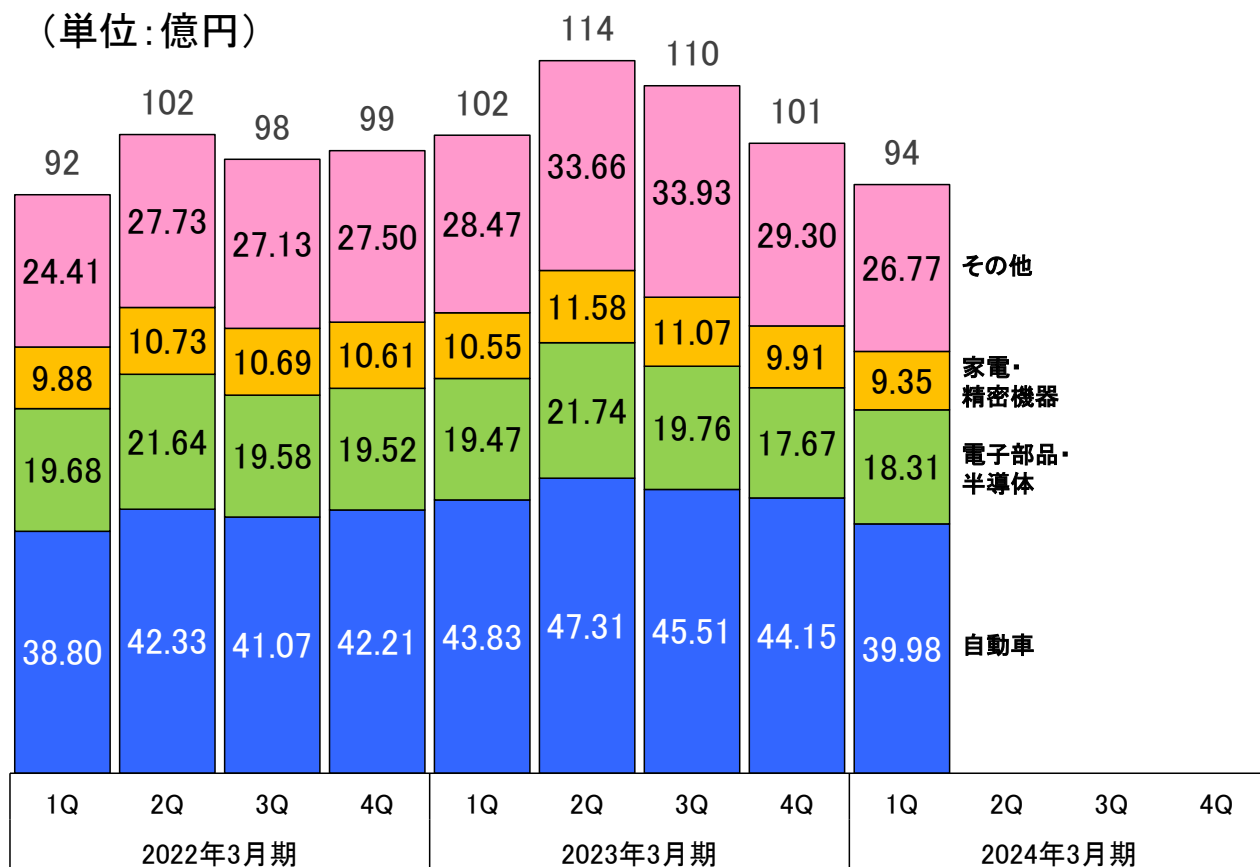
PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO.,LTD.

25

業種別売上高

(単位: 億円)



PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

26



【IRに関するお問い合わせ先】 パンチ工業株式会社 経営戦略室 広報IR課 電話: 03-5753-3130 e-mail: info-corp@punch.co.jp

【将来見通し等に関する注意事項】

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。
 本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。
 また、業界等に関する記述につきましても、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。